

第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛^え顔^{がお}つなぐえひめ大会)
バレーボール競技実施要領

1 競技規則

平成 29 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

(1) 聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー（手話通訳者等）1 名及び選手 12 名以内とする。

イ 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて 12 名以内とする。

ウ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 2 名及び選手 12 名以内とする。

イ 男女別にチームを構成する。

(3) 精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名及び選手 12 名以内とする。

イ 男女混合でチームを構成する。

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害者（男女別）、知的障害者（男女別）及び精神障害者ごとにトーナメント方式とし、3 位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合 3 セットマッチとし、2 セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1 セット 25 点のラリーポイント制とする。

なお、得点が「24 対 24」の同点となった場合、それ以降は、2 点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

(4) 第 3 セットは 25 点制で行い、コートの変更はいずれかのチームが 13 点先取したときに行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

4 服装等

(1) 背番号は、1 番から 12 番までが望ましい。やむを得ない場合は、1 番から 99 番までとする。なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規程のものとする。

(2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォ

ームを着用すること。

5 試合球

- (1) 聴覚障害者及び知的障害者の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球(人工皮革・カラーボール)とし、主催者が用意する。
ア 男子 (モルテンV 5 M5000)
イ 女子 (ミカサMVA300)
- (2) 精神障害者の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトボール球・糸巻きタイプ(モルテン製円周 78 ± 1 cm, 重量 210 ± 10 g) (S 3 Y1500-WX)とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成29年8月に開催する愛顔^{えがお}つなぐえひめ大会競技会運営調整会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選のうえ決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、平成29年10月28日(土)競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行い、優勝チームに優勝杯を、3位までのチームに賞状と、それぞれの選手にメダルを授与する。

8 その他

- (1) 平成29年10月27日(金)に監督会議を行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場内へは選手、監督、コーチ、マネージャー、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア、あらかじめ許可を受けた報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 監督、コーチ及びマネージャーは規程のマークを左胸部につけること。
なお、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (4) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (5) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。